

ドイツと日本

ドイツと日本は大きく異なります。文化、宗教、食事、コミュニケーションの仕方、礼儀作法、協調の仕方などがその一例です。

もしあなたが日本で、何かをどこかで置き忘れてしまった場合、誰もそれを取ったりはしないでしょう。しかしドイツでは、スリや盗難も多いため、自分の手荷物はより注意をしなければなりません。またドイツでは、よく公共の場で大声で言い合いをしているのを目撃します。これも大きな違いです。ドイツではコミュニケーションが日本よりも直接的で、まるでボクシングのようです。もし相手に反論ができない、またはしたくない、となったら、それは弱みを見せることと同じなのです。

日本では、サービスは受けて当然と思われています。ドイツのレストランでは時折、食事が運ばれてくるまでに時間がかかることがあります。よいサービスはドイツではチップとして報われます。ドイツ人はワークライフバランスにも気を遣います。仕事が終わったらすぐに帰宅します。一日の労働時間も日本より短く、定年も早いです。

両国の大きな共通点としては、パフォーマンスと組織力の高さです。ドイツと日本は敗戦国ですが、すぐに戦勝国に経済的に追いつきました。両国の地下資源は乏しいですが、どちらの国民も多くの分野で世界を牽引しており、世界最高水準を誇っています。ロシア、イギリス、アメリカ合衆国といった戦勝国が、自国では品質の高いものが作れず、ドイツや日本から車や工業製品を輸入しているというのは面白いですね。

